

台風被害比へ看護師

アムダ、喜久川さん派遣

県の第2回沖縄平和賞を受賞した国際医療支援団体

「AMD A (アムダ)」（本部・岡山市、菅波茂理事）は台風24号が直撃したフィリピン南部のミンダナオ島緊急支援のため、アムダ沖縄支部メンバーで沖縄セントラル病院勤務の看護師喜久川明日香さん(36)と那原町IIを派遣する。県も10日、フィリピン政府に10

0万円の見舞金を送ると発表した。

フィリピンでは台風の影響で大雨や土砂災害が起こり約500人が死亡し、約300人が行方不明とされている。7日午後、アムダの医療スタッフ2人が先遣隊としてマニラに到着、支援活動を始めた。

喜久川さんは「現地で苦しんでいる人の力になれる



ようつ全力を尽くしたい」と決意。アムダ国際部の小椋

フィリピン・ミンダナオ島支援に向けて10日に那覇空港をたった喜久川明日香さん(左から2人目)ら10日、県庁

順子さん(45)は、現地状況を把握した上で活動する方針を示した。

県の下地芳郎観光政策統括監は「フィリピンは沖縄とのつながりが強い地域。一刻も早く復興してほしい」と願った。

喜久川さんは11日にミンダナオ島に入り12日から医療支援を開始する。16日に帰国予定。